

#### 4 専修学校（専門課程）

(1) 表6に示すとおり、平成28年3月卒業者のうちの就職者総数は1,475人で、前年より39人増加している。そのうち県内に就職した者は1,024人で、前年より4人増加している。県内就職率は69.4%で、前年より1.6ポイント低下している。

県内就職率を専門分野別でみると、工業科、文化・教養科を除きいずれも60%を超える高い率になっている。

3ページ表3で示したとおり、県外就職者は451人で、前年より35人増加している。県外就職の状況を就職先地方別でみると、九州・沖縄235人(52.1%)、関東135人(29.9%)、近畿45人(10.0%)、中国18人(4.0%)、中部9人(2.0%)、四国7人(1.6%)、北海道・東北2人(0.4%)の順となっている。

進学者総数は45人で、前年より1人減少している。県内進学率は64.4%で、前年より3.5ポイント上昇している。

表6 専門分野別進路状況（専修学校〔専門課程〕）

（単位：人、％）

区 分	総 数		工 業		農 業		医 療		衛 生	
	28年3月	27年3月	28年3月	27年3月	28年3月	27年3月	28年3月	27年3月	28年3月	27年3月
卒業生総数	1,624	1,559	255	236	55	39	801	808	184	186
就職者総数	1,475	1,436	249	223	54	36	718	758	177	179
就職率	90.8	92.1	97.6	94.5	98.2	92.3	89.6	93.8	96.2	96.2
うち県内就職者	1,024	1,020	148	154	51	33	494	508	138	145
県内就職率	69.4	71.0	59.4	69.1	94.4	91.7	68.8	67.0	78.0	81.0
進学者総数	45	46	-	2	1	3	14	11	-	-
進学率	2.8	3.0	-	0.8	1.8	7.7	1.7	1.4	-	-
うち県内進学者	29	28	-	1	-	-	8	4	-	-
県内進学率	64.4	60.9	-	50.0	-	-	57.1	36.4	-	-
一時的な仕事に就いた者	15	19	1	5	-	-	9	6	-	-
一時的な仕事に就いた者の率	0.9	1.2	0.4	2.1	-	-	1.1	0.7	-	-
うち県内居住者	14	17	1	5	-	-	8	6	-	-
県内居住率	93.3	89.5	100.0	100.0	-	-	88.9	100.0	-	-
その他総数	89	58	5	6	-	-	60	33	7	7
その他の率	5.5	3.7	2.0	2.5	-	-	7.5	4.1	3.8	3.8
うち県内居住者	56	38	5	6	-	-	39	20	4	5
県内居住率	62.9	65.5	100.0	100.0	-	-	65.0	60.6	57.1	71.4

つづき

区 分	教育・社会福祉		商業実務		服飾・家政		文化・教養	
	28年3月	27年3月	28年3月	27年3月	28年3月	27年3月	28年3月	27年3月
卒業生総数	75	90	91	72	13	12	150	116
就職者総数	68	80	86	66	4	7	119	87
就職率	90.7	88.9	94.5	91.7	30.8	58.3	79.3	75.0
うち県内就職者	61	75	76	64	4	7	52	34
県内就職率	89.7	93.8	88.4	97.0	100.0	100.0	43.7	39.1
進学者総数	5	9	1	3	-	-	24	18
進学率	6.7	10.0	1.1	4.2	-	-	16.0	15.5
うち県内進学者	4	7	1	-	-	-	16	16
県内進学率	80.0	77.8	100.0	-	-	-	66.7	88.9
一時的な仕事に就いた者	-	-	2	2	1	5	2	1
一時的な仕事に就いた者の率	-	-	2.2	2.8	7.7	41.7	1.3	0.9
うち県内居住者	-	-	2	-	1	5	2	1
県内居住率	-	-	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0
その他総数	2	1	2	1	8	-	5	10
その他の率	2.7	1.1	2.2	1.4	61.5	-	3.3	8.6
うち県内居住者	-	1	2	1	6	-	-	5
県内居住率	-	100.0	100.0	100.0	75.0	-	-	50.0

(2) 図8に示すとおり、平成28年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況をみると、医療、福祉が884人(59.9%、前年に比べ5.1ポイント低下)で最も多く、次いで情報通信業122人(8.3%、同3.0ポイント上昇)、生活関連サービス業、娯楽業97人(6.6%、同2.4ポイント低下)の順となっている。

県内就職者を産業別でみると、図9に示すとおり、医療、福祉が655人(64.0%、前年に比べ2.4ポイント低下)で最も多く、次いで生活関連サービス業、娯楽業72人(7.0%、同2.2ポイント低下)、農業、林業48人(4.7%、同1.5ポイント上昇)の順となっている。

図8 産業別就職状況の推移(専修学校〔専門課程〕)

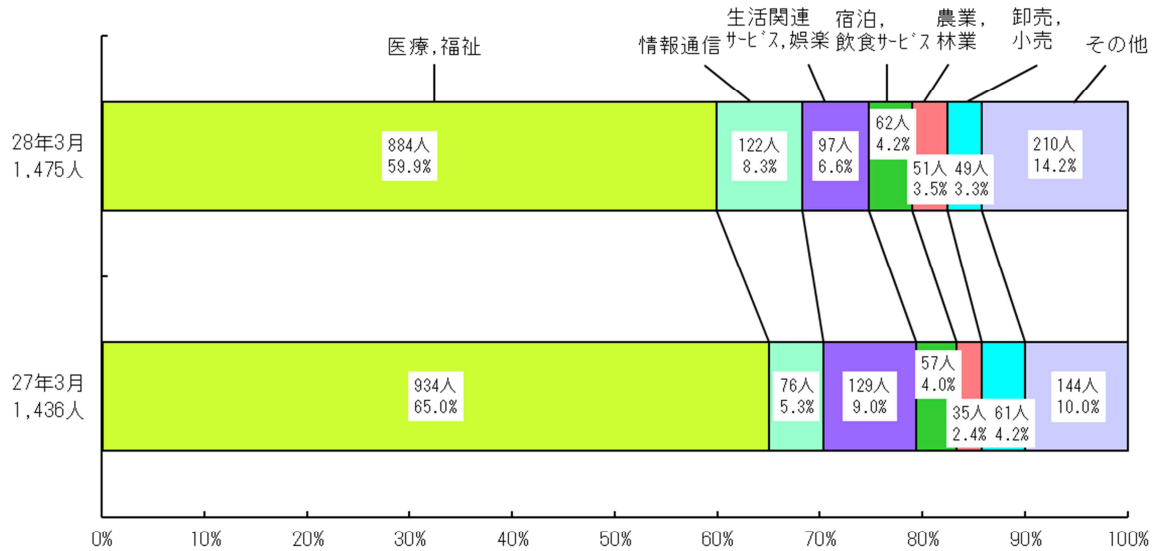


図9 産業別県内就職状況の推移(専修学校〔専門課程〕)

